

不況下の年代別勉強法を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

1 月の最後になりましたが、景気はなかなか回復しないようです。もしかしたら、100 年に一度といわれる大不況が恐慌という状況に陥ってしまうかもしれません。そのようなおそれもある今日この頃です。

(2)この「開倫塾の時間」は、勉強のしかたについてお話をする番組です。そこで今日は、学校に行っている方々、つまり年齢でいうと 25 歳ぐらいまでである小学生・中学生・高校生・大学生・大学院生の方々の勉強のしかた、働き始めたあるいは働いている方々、つまり 20 歳ぐらいから 65 ~ 70 歳ぐらいまでの方々の勉強のしかた、65 ~ 70 歳を過ぎた熟年の方々の勉強のしかたの 3 つに分けて、この大不況の下でどのような勉強をしたらよいかについて少しお話をさせていただきたいと思います。

2. 学校時代の勉強法

(1)大不況の下ですから、学校に行っている方々はとにかく学校の勉強をきちんとしたほうがよいですね。ダラダラと過ごすような時期ではもうありません。勉強するチャンスがあるのですから、教科の勉強はもちろん、部活動や学校行事にも真面目に取り組んでほしいと思います。

(2)これらはすべて世の中に出て役に立ちます。また、貴重な税金を使い、保護者の方からは学費を出して学校に送り込んでいただいているのですから、学校で学んでいる方々は今やっている勉強に真剣に取り組むことが大事であると思います。

3. 仕事をしている人の勉強法

(1)仕事をなさっている方々は経済を支えています。ですから、この方々には頑張ってくださいしかありません。皆さん、20 歳ぐらいから 65 ~ 70 歳ぐらいまでのおおよそ 50 年間働きますね。65 歳、70 歳といいましたが、元気な方には 75、80、85、90、95、100 歳までお働きいただければと思います。身体が元気な方は働いたほうがよいと思います。今は不況ですから、これまでのようにお金が天から降ってくるような時代ではありません。ですから、お金の稼げる方や仕事のできる方は働いて、1 円でもよいから収入を得て自分の生活の足しにする、1 円でもよいから税金を払うという心掛けをしていただければと思います。すると、不況はいくらでも克服できると思います。

(2) 仕事をしている方にとって一番大切なこととお話します。今までの製品やもの、サービスなどは買ってくれる方がなかなかいませんので、新しいものを作ったり新しいサービスを提供して買っていただくことが大事であると思います。

(3) そこで重要なのは、何を買ってもらえるかということをよく考えることです。また、仕事のやり方を変えることにより買っていただけることもあると思います。ですから、仕事のやり方を変えたり、何か売れるものはないかと新しい商品を考えたりしながら仕事をするのが大事であるといえます。

(4) 昨日のように今日があり、今日のように明日があると思っていると、明後日はない。企業は原則倒産ですから、このような状況のときに放っておくと、会社はどんどん倒産してしまいます。自治体も破産しますし、国家も破産してしまいます。ですから、必要なことを考えてやっていく、そしてやり方を変える、これが最も大事ではないかと思えます。そのためには、やはり勉強です。仕事をしている人としての勉強をしなくてはなりません。

4 . 70歳すぎの人の勉強法

(1) 65 歳、70 歳を過ぎた方で、一度仕事をリタイアした方々は、いつまでも若々しく生きる、自分のよさを見つけていつまでも若々しく生きることが大切であると思います。その中でも一番大事なことは、病気にならないことです。病気になるとお金がかかりますし、自分自身もご家族も大変な苦勞を背負い込むことになります。また、病気になってしまわれた方は 1 日も早く治すことです。病気になってしまったことはしょうがないですから、1 日も早く病気に打ち勝つことです。病気は、打ち勝とうと思えばいくらでもよくなります。よくなる病気など一つもありません。ですから、こうすればよくなるのではないかということをも自分なりに一所懸命勉強して、病気に打ち勝ち、1 日も早く元気な身体になる。精神的にもよい状態になる。これが大事ではないかと思えます。

(2) 病気にならないようにする、病気になってしまったときは 1 日も早くこれに打ち勝つ、このことが大切です。

5 . おわりに

(1) このようにして過ごしていけば、この不況もそんなに怖くはありません。一番大事なことは、学生も働いている方も一度リタイアした方も、今の不況がどのような形で起こったのかをよく知ることです。なぜこのようになってしまったのかをよく知った上で、ではどのようにしたらよいのかを自分の頭で考える。かまってくれる人は誰もいませんから、自分自身で考えて、自助努力・自己責任で生きていくしかありません。ですから、なぜこのような不況が起こってしまったのかをよく考え、どのようにしたら克服できるのか、自分にできることは何かを考えることが大事ではないかと思えます。

(2) そのためには、CRT 栃木放送のようなラジオ番組を聴いたり、ニュースを見たり、解説番組を聴いたりすることが大事だと思います。それにも増して、1 時間から 2 時間は新聞を一面からなめるように読んで、世の中の出来事をじっくり観察することが大事です。いくらお金が大変だとはいっても、新聞だけはとったほうがよいと思います。朝刊はもちろん、余裕のある方は夕刊までとって、1 日 1 時間から 2 時間じっくり読むと、なぜこの不況が起きたのか、どのようにしたらこの不況から脱却できるのか、毎日の生活をどうしたらよいかということが細かくわかります。ですから、ぜひ新聞を読むようにして下さい。

(3) 図書館には新聞が揃っていますので、どうしてもお金が足りなくて新聞をとる余裕のない方は、1 週間に一度でもよいですから図書館に行き、そこで 1 週間分をまとめて読むのもよいと思います。同じ新聞ばかりを読んでいすると、その新聞の考えに染まってしまいます。できれば違う新聞をときどきは読み、その新聞のよさや偏りを探すことも大事ではないかと思えます。

(4) 不況に打ち勝つためにも、小学生は 20 分、中学生は 40 分、高校生は 1 時間、大人は 1 時間以上新聞を読んで、自分の頭でどうしたらよいかを考えることが大切であると思えます。

(5) 皆様はどのようにお考えでしょうか。